

EIWA UNIVERSE

第32号

発行日 2025年7月22日

静岡市と子育て支援に関する連携協定を締結しました。

ハイライト:

- 静岡市と子育て支援に関する協定締結 (1p)
- 社会活動奨励賞 (3p)
- 跡見学園女子大学との協定締結 (6p)
- 後援会だより (8p)



2025年1月30日に静岡市と子育て支援に関する連携協定を締結しました。

その後、3月17日から「子育て支援センター英和」が学内に常設で開設され、それ以降、多くの親子連れが本学を訪れてくれています。

これは幼稚園教諭一種の免許および保育士資格の養成課程を擁する本学において、大きな前進の一歩となりました。

2002年の大学開学以来、地域に根差した社会福祉を理念とした保育士養成を行うことを一つの目標に、今日まで歩んできております。

人間社会学部の数ある資格取得実績の中で群を抜いて取得者が多いのは保育士、次いで幼稚園教諭の順となっております。

キリスト教の「愛と奉仕」の精神を軸に「他者と共生できる豊かな人間性」や「社会に貢献できる力」を育むことを建学の精神に掲げている本学にとって、保育士や

幼稚園教諭の仕事は“実践”そのものと考えます。

2011年には学生による子育て親子ひろば「あちよぼ」

と称して、定期的に大学構内を開放して学生たちが0歳から3歳までの乳幼児を対象とした遊びを企画し、保育実践を行ってきております。「あちよぼ」の楽しさは地域に広がり、子育てママだけでなくパパの参加も多く見受けられました。

その後はコロナ禍により地域への開放は滞っていましたが、この度の協定の下で、学内に子育て支援センターが開設されることとなりました。

これは県内では初の試みとなっており、地域で子どもや家庭を支える一助を大学が担っております。

開設にあたり、来場者の駐車スペースの問題、今まで無かったオムツなど新たなゴミへの対応、食堂の地域利用による料金設定の見直しなど寄せられる検討課題も多くありますが、向き合うべきは問題を問題として捉えるのではなく、地域に根差した大学として、足を運んでくれる市民の皆様に大学をどのように魅せて行くのか、そして、どう向き合っていくのか、が求められて来ています。

近年、多様性やダイバシティと言った言葉を耳にします。年齢、性別、人種、経験、趣味嗜好など異なる人が存在する状況において、その個性が認められる相対的な考え方こそが、静岡英和学院の開学以来138年間守ってきた建学の精神であり、昨今の世情への一つの答えでもあると思います。

地域に開かれた大学として、学校が持つ資源を開放し、活用してもらう。

大学としては本来得られない環境を学習の機会として活用していけたら、双方にとって有益な連携であると考えられると同時に、そうあってほしいと願っています☆ (連携課 森)



目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
キャリア支援課 連携課	6
留学生センター 学生課	7
後援会 研究室探訪	8

もと さが もん

求め、探し、門をたたきなさい

学長 永山 ルツ子



永山 ルツ子
(ながやま るつこ)
学長

もと さが
「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうす
み もん ひら
れば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれ
もと もの う さが もの み もん もの ひら
でも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開か
れる。」

ふくいんしよ しやう せつ
(マタイによる福音書 7章 7-8節)

じよせい きやういく 18 せい き
女性と教育。18世紀にジャンヌ＝マリー・ルプランス・ド・ボーモンという1人の女性が
びじょ やじゅう ゆうめい ほん しゅっぱん えいが えが
「美女と野獣」という有名な本を出版しました。ディズニー映画でも描かれていますが、
しゅじんこう どくしよず とうじ じよせい ほん きやうみ も じつ き い
主人公のベルは、読書好きです。しかし、あの当時の女性が本に興味を持つことは実は奇異な
め み へんじんあつか ねん じよせい ち い ひく きやういく
目で見られ、変人扱いされたのです。1887年、まだ女性の地位が低く、教育もままならない
じだい せんきやうし しずおか ぼくし しやだいこうちやう
時代に、カナダの宣教師や静岡の牧師たちのサポートにより、ミス・カニングハムを初代校長
しずおかえい わじよがっこう せつりつ ねん ししやう
として、静岡英和女学校が設立されました。2024年のグローバル・ジェンダー・ギャップ指数
にほん さくねんど い い すこ ぜんしん じよせい へんけん さべつ
は、日本は昨年度の125位から118位になり、少しは前進しましたが、女性への偏見、差別、
ざんねん いま いた ところ きやういく かんてん み
ハラスメントなど、残念なことに今でも至る所にあります。教育という観点から見たとき、
さべつ せいべつ みな だいがく まな あ まえ
差別は性別にとどまりません。皆さんが大学で学ぶことは当たり前ではないのです。SDGsの
もくひやう ひと だれひとり と のこ きやういく はいけい も つ ひとびと
目標の1つである「誰一人取り残さない」教育とは、あらゆる背景を持つ人々が、それぞれ
あ しつ たか きやういく う と く せいべつ じんしゅ
のニーズに合わせた質の高い教育を受けられるようにする取り組みです。性別、人種、
しゅうきやう しょうがい う お けいざいじやうきやう す ばしよ かか だれ きやういく う
宗教、障害の有無、経済状況、住んでいる場所などに関わらず、誰もが教育を受ける
きかい びやうどう あた しゃかい もくひやう だいがく まな だいいっぱ たようせい りかい
機会を平等に与えられる社会を目標にしています。大学での学びの第一歩は、多様性を理解
げんご ぶんか ちかかん たやう はいけい ちが あいて かんが かつ ぶんか
することです。言語や文化、価値観など多様な背景が違うからこそ、相手の考え方や文化を
そんちやう いっしょ まい きやうりよく せいちやう もと さが
尊重し、一緒に学びあい、協力することで、成長することができるのです。求め、探し、
もん あたら みらい ひら みな りんじん たす あい
門をたたいてください。そうすれば、新しい未来が開かれます。皆さんには、隣人を助け愛し
たが けい い はら にんげん せいちやう ねが しゅ みな
互いに敬意を払える人間として成長してほしいと願っています。主イエス・キリストの御名に
いの
よって祈ります。アーメン

宗教委員会

いつも本学のためにお祈りくださり感謝します。宗教主任の佐々木謙一です。2025年度も無事に新学期を迎えることができました。何よりも神様の祝福によって感じとても感謝しております。

そのような中、4月19(土)、20日(日)に山梨県北杜市高根町清里にある清泉寮において新入生を対象とした「スチューデント リトリート」が行われました。昨年同様、人間社会学部と短期大学部合同で行うことが出来ました。

参加者総勢約180名でしたが、本年度の「リトリート」は例年に比べ、より充実した時間を過ごせたと感じております。手伝ってくれた教員の皆様はもちろんのこと、学生企画部の上級生たちが新入生たちのために一生懸命準備をし、プログラムを順調に遂行したことが何よりも良かったことであると感じております。

新入生の中には、学生企画部の上級生の活躍を見て、自分も是非入部したいと思ってくれる学生が出てきたことは、何よりも感謝すべきことであると思っております。

また、チャペル礼拝は昨年と同様に1年生を対象に行っております。本年度は大木麻理先生にオルガニストとして来ていただくことになりました。学生に積極的に声を掛けていただいていることから学生からの信頼も厚く、何よりも先生の誠実な姿勢が伝わり、礼拝そのものが、引き締まったものとなったと感じております。

そして、そのようなことから、今年の一年生は、キリスト教が初めてであるにも関わらず、積極的に聖書を声を出して読み、また讃美歌も大きな声で歌っていることが目につきます。

また、宗教委員会として常に学生の皆さんに何をしておあげられるかを考えてお

ります。そのような中で、静岡市近郊の教会から前期、後期それぞれに牧師先生たちよりお話をさせていただくことになりました。

また、学長の永山先生には毎月1回お話をさせていただき、コミュニティ福祉学科の山田先生と人間社会学科の金先生には、前期・後期1回ずつお話をさせていただくことになりました。

また、昨年からはじめた礼拝の司式と聖書朗読を学生に担ってもらうことを、本年度も引き続き行っていくこととなりました。新入部員も7名ほど入ってくれたこともあり、学生主体のキリスト教行事の実践が、徐々に浸透してきたように思います。

そして、昨年は残念ながら実施することが出来なかった、ワンコインコンサートを実施することが出来ました。とても感謝です。本年度は、前期後期1回ずつ実施できるように準備を進めている状況です。

このように、4月からチャペル礼拝を中心に活動をさせていただいておりますが、今後の活動として、火曜日の4時限に学生参加型の「お祈り会」を実施することを考えております。また、秋には創立記念礼拝、冬にはクリスマス礼拝を予定しておりますが、学生に声をかけて手伝っていただけるようにしていきたいと思っております。

最後に、わが静岡英和学院大学は、聖書の教を基盤とした教育を行っているキリスト教プロテスタントの大学であり、イエス・キリストが教えてくださった「求めなさい、さらば与えられる」という言葉を胸に、学生への教育に励みたいと思っておりますので、どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。

(宗教主任 佐々木)

ボランティアセンターだより

社会活動奨励賞の受賞

本学には年に一度、建学の精神「愛と奉仕の実践」に基づき、社会活動やボランティア活動を通して社会に貢献し、優れた実践や業績を残した学生及び学生団体に対し表彰する「社会活動奨励賞」という賞があります。毎年、様々な活動に尽力した学生が選ばれる賞ですが、2024年度には全学生の中から6名の学生が選ばれ、うち3名がボランティアセンター所属の学生でした。

現在、コミュニティ福祉学科4年の加藤優貴さん、人間社会学科3年の高澤優佳さん、現代コミュニケーション学科2年の海野心咲さんの3名です。加藤さんは今年のボランティアセンター学生スタッフの代表でもあります。年間を通して様々な活動に参加してくれました。子ども食堂での企画運営や、環境整備活動の参加、同窓会の諸先輩方と庭園整備やイベントの運営など多岐にわたっての活躍が評価されました。高澤さんは県の施設である朝霧野外活動センターにて8泊9日のキャンプをはじめ、多くのキャンプ等に参加するとともに、学内の活動にも関わってくれました。海野さんは昨年1年生ながら、

ボランティアセンターの全ての活動に参加するほど積極的に活動してくれました。加えて古民家カフェリフォームプロジェクトや夏休みのフィリピンのスタディツアーなど外部の活動にも参加

し、学内外問わず幅広い活動をしておりました。賞の

ために活動するわけではありませんが、この賞が後輩たちの活動の励みになれば嬉しいです。

3人のボラセンスタッフの学生の皆さん、本当におめでとうございます。

(学生課 荒川)



写真中央：加藤優貴さん
写真右から2番目：高澤優佳さん
写真右端：海野心咲さん

人間社会学科

人間社会学科の佐々木謙一です。人間社会学科の5メジャーの報告をいたします。学科の活動は以下のとおりです。

心理メジャーの卒業生の中に大学院に進学する学生が、過去3年連続（2022年度、2023年度、2024年度）で出ています。公認心理師になるために大学院に進学をするようですが、大学院でもしっかりと研鑽を積んでいただき、夢を叶えていただければと期待しています。

観光地域デザインメジャーでは、地域連携に力を入れています。昨年度は、静岡市の協力を得てウォーキングツアー「有度山美食探訪」の実施、静岡大学と古地図の観光活用をテーマに共同研究を行って「ふじのくに地域・大学フォーラム」での発表等を行いました。さらなる地域振興への貢献を目指します。

英語メジャーでは、昨24年の12月7日にTOEIC-IPテストを実施、多くの学生が成長へのきっかけを掴みました。さらに継続して700点、800点と受検を重ねる中で結果を目指す学生も出てきています。メジャー教員と子ども、学生たちの育成へ25年度も励んでまいります。

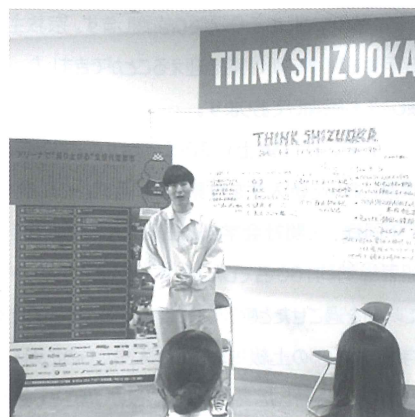
日本語文化メジャーでは、5年間に亘り本学の日本語学の教育に多大なご尽力を下された、大槻知世先生がご転出されました。大槻先生に感謝の意を表すと共に、津軽と松山の違いはありますが、同じく方言学が

ご専門の久保博雅先生を後任にお迎えし、授業や学生対応が順調に引き継がれていることをお伝えさせていただきます。

経済理論ゼミの学生は、ベルテックス静岡の地域活性化事業「ベルカレッジ」で活動し、昨年9月から準備を重

ね2月のホームゲームで企画を実行しました。経営学ゼミでは、3月13日・14日の1泊2日、ゼミ合宿を行いました。発表大会、美術館見学、熱海商店街見学も行いました。

人間社会学科は留学生も多く在籍し国際色豊かな学科ではあります。教職員一同が一丸となって静岡の地に優秀な学生を送り出すように頑張っています。また、皆様のご支援があつてこそ人間社会学科ですので、これからもよろしくお願いいたします。（人間社会 佐々木）



コミュニティ福祉学科

みなさん、はじめまして。呉羽かおると申します。この4月よりコミュニティ福祉学科の社会福祉メジャーにて、社会福祉専門職の養成に携わっています。学科や4つのメジャーについてはみなさん既にご存じのことかと思いますが、今回は少し趣向を変え、個人的なことで私の名字の由来についてお伝えします。

私の名字は「呉羽（くれは）」と読みます。広辞苑をお持ちの方は、「くれはとり」という言葉を引いてみて下さい。何版でも構いません。漢字では「呉織」「呉服」「呉機織」などと表記されています。実はこの名字は「呉」の国から日本へやってきた渡来人や織物自体を意味しています。そして富山県富山市には呉羽町という地名が残っています。この地域では、呉羽山や呉羽梨が有名なようです。ほか富山市内を走る、あいの風とやま

鉄道線には呉羽駅、北陸自動車道には呉羽PAもあります。これは私の推測ですが、渡来人はまず富山地方に上陸したのかも知れません。

しかしまだまだ聞き慣れない名字のためか、初見で正確に読んでもらえることはほぼありません。「ごはね」「ごは」、もしくは相手が聞き間違えて、栗原さん、栗田さんと呼ばれることがままあります。さらに自己紹介で名乗っても名前だと勘違いされ、まじめに名乗るよう注意されたこともあります。

という名字を持つ私ですが、真夏以外は常に首にストールを巻き、日々校舎間を移動しています。見かけた際は気軽にお声がけ下さい。今後とも、よろしくお願いいたします。

（コミ福 呉羽）

現代コミュニケーション学科

2024年度：ツアープランニングの科目紹介

「東京ディズニーリゾート1泊2日の旅」のご報告

短期大学部現代コミュニケーション学科の観光・ブライダルユニットでは、「ツアープランニング」という科目を設けています。この授業の目的は、「魅力的な旅行のプランニング力を身につける」、「東京ディズニーリゾートのホスピタリティを探究する」ことです。教室での授業では、魅力的な計画書を作成するために必要な情報収集に取り組み、東京ディズニーリゾートや宿泊するホテルのホームページに何度もアクセスしました。そして、実際にホテルの予約、新幹線チケットの手配、ディズニーチケットの確保等を行いました。



・旅行日程 2024年12月14日（宿泊場所＝浦安サンホテル：参加人数8名）
1日目＝LAND(ランド) 2日目＝SEA(シー)

【ツアーを振り返って：学生の声】
・詳細な旅行計画書の作成はけっこう大変だったけど、そのお陰で迷ったり、戸惑うことなくスムーズに行動できた。ロッカーの混雑ぶりは想定内だったので対処できた。
・ディズニーチケットの確保、新幹線チケットやホテルの手配を自分でするのは初めてだったけど、みんなで力を合わせ助け合ったことで無事に達成できた。

ツアープランニング

東京ディズニーリゾート
1泊2日の旅

旅行計画書

・日程 2024年12月14日（宿泊場所＝浦安サンホテル）
1日目＝LAND(ランド) 2日目＝SEA(シー)

～～～ディズニーのホスピタリティ体験談～～～

・ゲストリレーションキャストの対応が素晴らしかった！
園内のショップで買った3000円相当のキャラクターの帽子を失くしたが、1時間後に落とし物センターに届いていた。受け取る時とても丁寧で笑顔も素敵だった。
・授業で習ったディズニーのあまり知られていないホスピタリティを確認できた。トラッシュカンの配置やエントランスの緩やかな勾配などに初めて気がついた。
・学生アルバイトやシニアのキャストが多かったが笑顔がとても素敵だった。そのことからディズニーは訪れるゲストだけではなく、働いているキャストをも幸せにする場所であると感じた。

この授業を通して学生にツアープランニングのスキルがしっかり身についたと思います。また、ディズニーのハイレベルなホスピタリティを学んだことで、アトラクション以外のディズニーの楽しみ方や見どころを知ることができ、実りの多い学習になったと感じました。

(現コミ 井口)

食物栄養学科

2025年3月、50名の学生が本学科を卒業していきました。全員の進路や就職先が決まり、11年連続の就職率100%を果たすことができました。卒業生の資格取得状況は、栄養士48名、フードサイエンティスト11名でした。社会の荒波に負けず、卒業生が活躍できるよう応援しています。また、栄養士資格取得後3年以上の実務経験を積み、国家資格である管理栄養士に挑戦した本学既卒者たち4名が、第39回管理栄養士国家試験（3月2日実施）に見事合格し、管理栄養士の栄冠をつかみました。働きながら国家資格取得のため孤独な学びを続けた卒業生の皆さん、おめでとうございます。これからも社会に貢献できるよう大いに羽ばたいてください。ご活躍を期待しています。在学生達も、先輩の後に続き地域に貢献できる食のプロフェッショナルを目指して欲しいと願っています。

春爛漫の4月、満開の桜のもとで41名（男子5名、女子36名）の

1年生が入学しました。新入生たちとの新たな一年の始まりに心躍る思いです。今年度入学生のカリキュラムには、本学科の新たな魅力ある学びとして2つの新コース「カフェ・スイーツ」、「ビューティー・ウェルネス」が開設されます。「カフェ・スイーツ」では、栄養士課程で学んだ知識を活かしドリンクやスイーツを提供できるよう実践を交えた調理実習、さらに専門的な食の知識が修得できます。「ビューティー・ウェルネス」コースでは、食と美容についての最新の情報や技術を修得し、健康のプロフェッショナルを目指せます。

入学者が昨今減じている状況を打開できるよう本学科教職員一同、食の専門家庭教育にさらに励みたいと考えます。本学科の新たな学びにご期待ください。

(食物栄養 望月)

キャリア支援課

キャリア支援課を活用しよう

－進路選択の心強い味方－

就職活動や将来の進路に不安を感じる学生は少なくありません。そんなとき、心強い味方となるのが大学・短大のキャリア支援課です。キャリア支援課では、学生一人ひとりが自分らしい進路を見つけられるよう、さまざまなサポートを行っています。

主な支援内容としては、個別相談や履歴書・エントリーシートの添削、模擬面接など、就職活動の実践的な準備を丁寧に支援しています。また、学内外の企業説明会や業界研究セミナー、インターシップの紹介なども実施しており、具体的な進路選択に役立つ情報を幅広く提供しています。

特に個別相談では、就職活動の進め方はもちろん、「何がしたいのかわからない」「自己PRに自信がない」といった漠然とした悩みにも親身に対応しています。誰かに話すことで、自分の考えや方向性が整理され、次の一歩が見えてくることも多くあります。

「まだ準備には早いかも」と感じている方も、まずは気軽に立ち寄っ

てみてください。キャリア支援課は、あなたの可能性を広げるきっかけをきっと見つけることができます。

進路に迷ったとき、キャリア支援課はいつでもあなたのそばにいます。就職活動だけでなく、これからの人生を考える大切な時間を、一緒に支えています。
(キャリア支援課 松本)



連携課

跡見学園女子大学と

「デジタル人材育成に係る協定」を締結



跡見学園女子大学（学長：小仲信孝）と静岡英和学院大学は4月17日、デジタル人材育成に係る協定を締結しました。跡見学園女子大学が2026年度に開設する「情報科学芸術学部

（設置認可申請中）」の専任教員が本学向けに、数理・データサイエンス（情報科学）・AI（人工知能）などデジタル分野の応用基礎レベルの授業を実施し、単位互換科目とすることで、デジタル人材育成に寄与することを目的として、連携してまいります。

協定書への署名を前に永山ルツ子学長は「今回の協定を契機に、デジタル技術の活用とデータに基づく課題解決学習を推進して、地域の社会課題

解決に貢献できる人材を育てていきたいと考えています」と挨拶。続いて小仲信孝学長は「情報科学芸術学部の教育コンテンツや教員たちの力を最大限に活用しながら、静岡英和学院大学におけるデジタル人材の育成に努めて参りたい」と語り、両学長が協定書に署名しました。協定期間は2026年4月からの4年間です。
(連携課 森)



留学生センターだより

留学生センター近況

2025年度が始まりました。今年は大学には12人、短大には29人、合わせて41人の留学生が入学しました。昨年度より9人多く、特に短大は15人増えました。これまで在籍のなかったインドや東欧のリトアニア出身の学生も入学し、全学では11の国々から124人の留学生が在籍しています。

本学では留学生が快適で充実した大学生活を送れるように、留学生センターが設置されサポートをしています。また、主催行事の運営や留学生サポートの一端を学生スタッフが担っており、現在留学生も含めて41人が在籍しています。本年度はスタッフの代表を人間社会学科3年の沢崎汐里さんと内尾美優さんが務めています。

本年度最初の主催行事は4月22日(火)に開催した新入生歓迎交流会です。お昼休みの短い時間での開催ということもあり、留学生が立ち寄りやすいようにと新館301号室で行い、今年も30人以上の学生が参加してくれました。今年のレクリエーションは恒例のけん玉大会ではなく、ペットボトルを放り投げて立たせるゲーム、ボトルフリップ

チャレンジに挑戦しました。グループごとに交代でチャレンジして時間内にトータル何回立たせることができたか競い合いました。難易度が高く、最初は皆苦戦しましたが、次第に要領良くなるようになり、連続して立たせる学生も出てきて、大きな歓声があがっていました。笑顔溢れる楽しい交流ができました。

本年度も本学の理念にふさわしい国際色豊かなキャンパスを目指し、活動を推進します。
(留学生センター長 平井)



学生課

本学の課外活動について

大学短大あわせて217人の新入生を迎え、総勢809人で新年度がスタートしました。前期も半ばを過ぎましたが、新入生は大学生活にも慣れてきた頃だと思います。大学生の本分は、もちろん勉強(修学)ですが、楽しく有意義な学校生活に欠かせないのが課外活動(サークル・同好会・学友会・楓祭実行委員会・その他ボランティアスタッフなどの活動)です。ゼミ仲間とは違った友達ができ、視野が広がるのが魅力です。

本学にはあわせて19のサークル・同好会があり、放課後を中心に活発に活動しています。インカレに出場するような運動部こそありませんが、軽音



楽部や学生ダンスアイドルサークルなどのように外部のイベントなどにも招かれて演奏やダンスの披露をしているサークルもあります。授業に運動した福祉系

サークルや学生企画部といった宗教行事に係るボランティアサークルもあります。

また大学の生徒会に当たる学友会には11人、楓祭実行委員会には32人、ボランティアセンタースタッフには32人、留学生センタースタッフには留学生を含めて47人が所属しており、それぞれの団体で主催行事の運営や学内外でのボランティアなどを活発に行っています。

小さな大学ながら、多くの学生が多様な課外活動に取り組んでくれていることは、本学の大きな強みであり、建学の精神が学生に根付いている表れだと感じます。

(学生課長 平井)



後援会だより

いつも後援会活動にご協力を賜りましてありがとうございます。今回は昨年度の活動内容からいくつか抜粋してご報告いたします。

はじめに、施設設備関係では図書館と北館に設置された共用パソコン計11台の入れ替えと、新館2階に設置された複合機の設置費の一部助成を行いました。これまでは学生用コピー機がコンビニラウンジの1台しかなかったため、新館に新たに設置されたことで利便性が高まったかと思われます。設置した複合機は、今の学生にニーズに合わせQRコード決済（PayPay）にも対応しております。

また、学生食堂の一部メニューと米代に対して補助しており、食堂運営業者様のご協力もあってAランチ・Bランチは日替わりのおかず

小鉢、ごはん、お味噌汁付きで350円で提供されています。物価高が続いていますが、1食でも多くバランスの良い食事をとれるよう食事代・米代の補助を続けていきます。

以上のような活動のほか、今年度も学内奨学金や構内緑地管理等への助成を継続しながら、日々変化する学生生活の実態に合わせたサポートをすすめてまいります。



（総務課 倉田）

研究室探訪



寺嶋 康正

（てらしま やすまさ）

所属: 食物栄養学科

職名: 准教授

専門分野: 給食管理

専門分野は給食管理です。その中でも特定給食施設における給食管理が主になります。約20年間栄養士、管理栄養士として高齢者施設、病院で勤務しました。そのために真の専門分野は“給食管理における高齢者の食事”になるのかもしれない。

施設が高齢者のために用意する食事は、時代と共に変化しています。わたしが栄養士として施設での調理に携わり始めたころは、歯の調子が

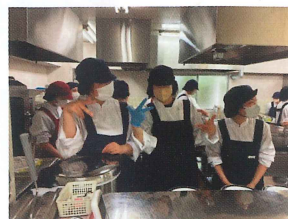


良くない高齢者の食事といえば、主食はお粥、主菜・副菜は細かく刻んだものと見栄えや召し上がる人の気持ちを考えたものではありませんでした。実際食べてみればわかりますが、細かく刻まれた食品はかえって食べにくく、むせやすいものです。

今では、刻んだものにトロミをつけたり、ミキサーにかけたものをムース状にしたのち、それをシリコン型に入れ再成型し、元の食品の形状に近づけたりします。調理する側の都合優先ではなく、召し上がる人のことを第一に考えたものへと変化したのです。

給食管理といっても、ただ調理することだけを考えるのではなく、調理する食材に対して、購入する時点から心を砕いておく必要があります。価格に重きを置くとときもあるでしょう、品質に重きを置くとときもあるでしょう。考えることは多岐に渡ります。いつも同じではないということを理解しておかなければなりません。

給食を管理しているのだけれど、一般人の人とは異なる視点から“給食”を見つめることができる栄養士さんを、あなたも目指しませんか。



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201 FAX 054-263-4763



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会